



TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続にむけて -

令和7年10月6日

我孫子市小中一貫教育だより
第381号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

「命でつなぐ我孫子カリキュラム～地震から暮らしを守る」

高野山小学校4年生社会科で我孫子中学校区オリジナルカリキュラムの授業が行われました。

「風水害から暮らしを守る」の単元で、防災バッグの中身を考えることを通して自助について考えを深めることが授業のねらいです。

前時までに学習した行政の取り組み（公助）や、地域の取り組み（共助）について確認し、自分で取り組めることについて考えます。はじめに市役所市民安全課職員の動画を視聴し、「自分の身は自分で守ること。ハザードマップや避難所の確認をすること。災害への備えをしておくこと。」が大切であることを子どもたちが理解すると、防災バッグに入れるものについて考え始めました。水や食料、薬、懐中電灯、モバイルバッテリーなど、避難所で必要になるものを考え、意見を共有しました。「水は何リットルいるか？」「家族の分も必要では？」「ゲームはあきらめないとダメ？」など、全体でも意見を出し合い、最低限必要なものはどんなものかについて考えを深めていく子どもたちには、防災を自分事として捉える姿がありました。

次時には、自助・共助・公助の関係にせまり、地域社会の一員としての行動を考えていきます。自分の身を守ることに留まらず、主体的に社会で役割を果たそうとする態度の育成につながる授業となりました。



「キャリアでつなぐ白山中区カリキュラム～『働く』とは、どういうこと？」

我孫子第四小学校6年生で白山中学校区オリジナルカリキュラムの授業が行われました。白山中学校区はキャリア教育を柱にして小中一貫オリジナルカリキュラムを作成しています。

「働くとは？」の単元の始まりとして、「何のために働くのか」を考えました。子どもたちは、「お金のため」「生きていくため」「自分のため」「夢を叶えるため」「誰かの役に立つため」「国民の義務だから」など、様々な意見を出しました。先生から、働く理由には、①生計の維持、②自己実現、③社会貢献に分けられることを教わり、自分ならどれを大切にしたいか順位をつけて考えました。小グループで個人の考えを伝えると、なかなか考えが一致せず、「お金がないと生活できないから大切。」「働いている時点で誰かの役に立っているはずだから貢献している。」「好きなことが仕事だったら毎日が楽しいはず。」など、話し合いがたいへん盛り上がりしました。ある児童の「全てが大切だから順位をつけられないし、みんな違ってよい。」という意見に、まわりの児童も共感していました。

今後の職業人講話会や職業の魅力を追及する学習を通して、児童一人ひとりの働く理由が深まっていく期待が膨らみました。また、白山中学校3年間のキャリア教育にうまく繋いでいってほしいと思います。

